

専門科目 社会行動科学

(専門職学位課程)

科目名	特別講義(社会行動科学Ⅰ～Ⅲ) ^(※)	code number : HBS 401～403 ^(※)	選択	1 単位
-----	--------------------------------	---	----	------

科目責任者	Ichiro Kawachi 客員教授 ^(※)						
配当年次	1・2年次	配当学期	冬期	曜日・時限	4日間	授業方法	講義

1. 授業の概要

人々の健康状態を評価しその理論モデルを構造化するための基本知識を網羅する講義を行う。疫学研究を実証的に進めるために必要な概念や手法を学ぶ。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

社会階級、性別、貧困、収入格差、ソーシャルネットワーク/サポート、コミュニティの結束、心理社会的な仕事環境、近隣関係など社会的要因が人々の健康に及ぼす影響について理解する。

【行動目標(SBO)】

1. 上記の考え方をを用いながらハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを説明し、コミュニティレベルの健康決定要因、ソーシャルキャピタル、職場ストレスモデルなどに基づいた人々の健康問題への介入方法を提言できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

(1)筆記試験(100%)

4つのショートエッセイ形式の問題を含めた90分の筆記試験を行う(最終日の午後に実施予定)。

4. 教科書・テキスト

- ・Berkman LF, Kawachi I, Glymour MM (eds). Social Epidemiology 2nd Edition. New York: Oxford University Press, 2014.
- ・高尾総司、藤原武男、近藤尚己(訳)、社会疫学(上・下)大修館書店、2017年(上記の訳書)

5. 参考書

- ・講義で紹介する。
- ・カワチ イチロー. 命の格差は止められるか: ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業, 小学館101新書, 2013年

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・事前にテキストや講義用資料が専用HP上に公開される。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・各回終了後には、日本人教員とTAによる補講が行われる。
- ・試験(最終日の午後予定)やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
- (※)年度により開講内容が異なる場合があり、Ⅰ～Ⅲのいずれかを開講する。
- (※)担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。
- (※)また、具体的な授業日時、授業内容については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。

<授業計画>

特別講義(社会行動科学Ⅰ～Ⅲ)(※)

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	1月中旬		Ichiro Kawachi 教授(客)	健康の社会決定要因の概説
2			Ichiro Kawachi 教授(客)	社会経済状態、測定と原因とみなせるエビデンス
3			Ichiro Kawachi 教授(客)	収入格差と健康
4			Ichiro Kawachi 教授(客)	ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポートと健康
5			Ichiro Kawachi 教授(客)	ソーシャルキャピタル、社会の結束と健康
6			Ichiro Kawachi 教授(客)	心理社会的な仕事環境と健康
7			Ichiro Kawachi 教授(客)	行動経済学と公衆衛生
8			Ichiro Kawachi 教授(客)	健康格差の是正:政策の観点から